



“Dr. ジャン・シーのヒューマンファクター研究室”

No. 15 〈整理・整頓〉

タイトル：その乱雑さがエラーのもと！

【事例】

上司から資料を探して持ってくるよう依頼されました。作業員の机の上は、ファイル綴じ等の整理前の資料が山積みになっていたり、閲覧中の資料や図面などが所狭しに置かれており、目的の資料をなかなか見つけ出すことができませんでした。

【ヒューマンファクターの視点から】

ヒューマンエラーは、人間の本来持っている特性と、人間を取り巻く環境がうまく合致していないと、引き起こされます。人間を取り巻く環境には、職場/作業の物理的環境が含まれます。物理的な環境整備がなされていないと、モノを探すなどでムダに時間を費やしたり、大切なモノを紛失したりしてしまいます。また、ポスターの絵のように机上が乱雑だと正しい判断を阻害する原因にもなり、間違い・失敗を増やしてしまった事例が報告されています。

物理的環境整備の基本は 整理・整頓 です。

整理とは、「いるものと、いないものをはっきり分けて、いないものを捨てる」こと。

また、整理の対象は書類、工具等のモノに限らず業務、マネジメントにも適用可能です。

整頓とは、「いるものをすぐに取り出せるようにきちんと置き、誰でもわかるように識別する」こと。

⇒まず整理を行い、その後整頓する。

整理・整頓のメリット

1. 効率の向上：探すための時間のムダがなくなり、仕事のリズムが良くなる
2. 品質の向上：仕事上のミスやトラブルが減り、品質が良くなる
3. 安全の向上：環境整備により、不安全状態や不安全行動が減り、安全が確保される

整理・整頓が徹底された作業環境をつくることで、リスクを排除しましょう！